

(5) 展 開

欄	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
2 分 導 入	1 本時の学習 内容を知る	○前時の復習を行う ○情報発信について 学ぶことを知る	・生徒を指名し、前時の学習内容 を確認させる ・情報発信の主なパターン ①	
38 分 展 開	2 知らない相手 との通信 3 情報発信の 際の注意事項 4 情報発信の 事例	○知らない相手との コミュニケーションについて考える ○相手のことが分から ない危険性につ いて知る ○無責任なコミュニ ケーションが及ぼ す影響について考 える ○情報発信の際に気 をつけなければな らないことにつ いて知る ○事例を参考に、情 報発信の際の注意 事項を確認する	・知らない相手と通信する ということ(1)～(4) ② ・名前等を明かさな いで行うコミュニ ケーションの利点 と欠点を認識させ るよう事例を挙げ ながら考えさせる ・無責任になる原因 を考えさせながら 、責任を持った情 報発信を行わなけ ばならない理由を 考えさせる。 ・情報を発信する ときの注意(1)～ (5) ③ ・発信する内容や表 現方法に配慮が必 要なこと、責任に ついて理解させる ・著作権法に触れる ・事例 ウェブ&ブ ログ(1)～(4) ・事例 Eメール(1) ～(4) ④ ・具体的な事例を 挙げ、質疑応答を 交えながら、配慮 が必要な事項に 気づかせる	[関・意・態] 教師の発問 に対し、積 極的に考え、 発言してい る。(観察)
10 分 ま と め	5 学習のまとめ と次時の予告	○他の生徒の発言を 聴き学習事項を 確認する ○ワークシートを記 入し、学習事項を 整理する	・学習内容を確認す るための発問を 行い、生徒を指 名する ・机間指導により 、理解が不十分 な生徒に助言す る ・次時の学習内容 を知らせる	[知識・理解] 学習内容を 実習や生活 に生かすた めの理解が できている (ワークシート)

(6) IT教材の説明

情報発信の主なパターン

- ウェブページやブログの作成
特定または不特定の相手向け **1対多**
- 電子掲示板(BBS)やブログへの参加
特定または不特定の人間同士 **多対多**
- Eメール(E-mail)
普通は特定の相手向け **1対1** **1対多**

①について

- 本時の学習内容の概要を知らせる。
- 発信のパターン別に内容を表示し、順に説明を加える。

知らない相手と通信するということ(1)

素性を隠してやりとりすると

- 名前や住所、年齢、性別、その他の情報を隠したままならば、日常生活(属性)に縛られないコミュニケーションができる?

いい点と悪い点

- 気楽なやりとり、本音のやりとりができそう
- × 無責任・攻撃的なやりとりになりやすい

お互いを信用しあえるかは別問題!

②について

- 知らない相手と匿名で通信を行う場合の、利点と欠点について、考えさせる・・・(1)
- 素性が分からない相手と通信を行う場合の、危険性を知らせる・・・(2)

知らない相手と通信するということ(4)

なぜ無責任になるのか

- 自分が誰だか知られていないから叱られないだろう、身体にも危害を加えられないだろう
- ネット接続を切れれば、つきあひもやめられる、逃げられる、知らないふりもできるだろう

甘えは通用しない! 入手した情報を分析して、名前や住所を割り出す人もいる!

②について [その2]

- 匿名で通信を行うと、なぜ無責任になるのかを考えさせる・・・(3)
- 個人情報相手を知らせる危険性を知らせる・・・(4)

情報を発信するときの注意(1)

発信する内容を事前に何度も見直す

- 内容を見た人が、誤解をしたり、不安や不快を感じる可能性はないか
- 他人が作った内容(文、絵、音楽 ほか)を、許可なく使っていないか
- 見にくい構成になっていないか

③について

- 情報発信を行う際には、発信内容を何度も見直す必要があることに気づかせる・・・(1)
- 情報発信を行う際には、その表現方法にも、注意が必要なことを知らせる・・・(2)

情報を発信するときの注意(3)

他人が作ったものを勝手に使わない

- 他人が作った文章や絵、写真、映像(動画)、音楽、各種のソフトなどは、著作権者に許可を得てから自分の作品に使う

※私的な利用や授業のためなら、許可がいらない場合がある

詳しくは、先生に尋ねよう 参考:著作権法

③について [その2]

- 著作権に関連して、注意が必要な事項を知らせる。ただし、詳しい内容は次時に学習する・・・(3)
- レイアウトなどにも、注意しなければならないことに気づかせる・・・(4)
- 情報発信には責任が伴うことを認識させる・・・(5)

事例 ウェブ&ブログ(1)

メールアドレスを掲載したら

- 感想、助言などが送られてくる
- 「連絡先を明かしている」ので信用される?
- ×迷惑メールがたくさん来るようになる
- ×いたずらメールのほか、悪意が感じられるメールが送られてくる

④について

- 自分のウェブやブログに、メールアドレスを掲載した場合に起こる可能性がある事柄について知る・・・(1)
- 配慮を欠いたり、表現方法が不適切なまま情報を発信した場合に起こる可能性がある事柄について知る・・・(2)
- 著作権に関連して、具体的に理解させる・・・(3)(4)

事例 Eメール(1)

「あさっての7時ならたぶんOKです」
とメールを送ったら

- 「あさって」がいつなのか、はっきりしない
メールが送信された日に読まれるかわからない
何時間もあとに相手に届く場合もある
→「あさって」の日付も書くどよい
- 「7時」が午前か午後かがわからない
午前・午後を添えるか、24時間制で書く

④について [その2]

- あいまいな記述を行った場合に起こる可能性がある事柄について知る・・・(1)
- 宛先の入力間違いなどを行った場合に起こる可能性がある事柄について知る・・・(2)

事例 Eメール(3)

メールで「秘密の情報」を送ったら

- メールには「盗聴」される危険性がある
→うっかりアドレスを間違ったら、別人に「秘密」が届いてしまうこともある
→秘密を送らなければならない場合は、暗号化ソフトを使って正しい相手しか読めないようにするなどの対策が必要

④について [その3]

- メールが「盗聴」される危険性について知る・・・(3)
- 他人になりすましてメールを出した場合に起こる可能性がある事柄について知る・・・(4)